

株式会社クレディセゾン(8253) 2008年度決算発表
連結営業収益 3,270 億円(前比 94%)、当期純損失 555 億円
～ 不動産関連事業および貸金業法改定の影響 ～

クレディセゾンの2008年度連結決算は、営業収益:3,270 億円(前年比 94.6%)、経常利益:309 億円(同 53.3%)、当期純損失: 555 億円(前年純利益 267 億円)となりました。

3月25日に再建計画を発表した子会社アトリウムの不動産事業からの一部撤退及び営業拠点再編に伴う事業整理損失 904 億円を計上したことが、純損失 555 億円に至った主な要因です。

事業セグメント別では、クレジットサービス事業(営業収益:2,547 億円 前比 100.0%)において、みずほ銀行との提携カード(MMCカード)や、ヤマダ電機との提携カード(LABIカード)が大きく会員数を拡大、ショッピングリボ残高も順調に増加し、収益に貢献しましたが、キャッシング金利引下げによる減収に加えキャッシング取扱高が伸び悩み、収益は前年並みとなりました。また販売管理費は、増加傾向にある利息返還請求への引当金を積み増しておりますが、事業構造改革によるコスト削減を積極的に進めた結果、前年と同水準に留まりました。

ファイナンス事業(営業収益 :467 億円 前比 105.3%)は、信用保証ビジネスやリースビジネスが好調だったものの、不動産担保融資ビジネスの不振により、収益の伸びが鈍化しました。

不動産市場の著しい流動性低下の打撃を受け、不動産関連事業(営業収益:185 億円 前比 48.9%)は、前年を大きく割り込む結果となりました。

エンタテインメント事業(営業収益:155 億円 前比 107.9%)については、不採算店舗の改廃など業務の効率化を図り、増益を回復しました。

なお2009年度の連結業績予想は営業収益:3,160 億円(前年比 96.6%)、経常利益:360 億円(同 116.3%)、純利益:170 億円、単体業績予想は営業収益:2,650 億円(前年比 97.8%)、経常利益:330 億円(同 102.4%)、純利益:165 億円、また予想配当は 30 円としています。

■単体の業績

- (1)新規カード開拓数 : **293 万枚**(前比 86%) (2)新規カード発行数 : **252 万枚**(前比 88%)
- (3)カード会員総数 : **2,757 万人** (年間純増 156 万人)
- (4)稼働会員数 : **1,391 万人** (年間純増数 69 万人)
- (5)カードショッピング取扱高 : **3 兆 8,910 億円** (前比 103.5%)
- (6)カードショッピングリボ残高 : **2,948 億円** (前期末比 111.8%)
- (7)カードキャッシング残高 : **5,939 億円** (前期末比 100.4%) 流動化債権含む
- (8)営業収益 : **2,709 億円** (前比 97.5%) (9)経常利益 : **322 億円** (前比 88.1%)
- (10)当期純損失 : **449 億円** (前年実績 245 億円)

以 上